

接待を伴う飲食店でのクラスターの発生について（第1報）

令和2年12月12日（土）、本市内の接待を伴う飲食店において、従業員が発熱などの症状があったにもかかわらず勤務していた中で、クラスターが発生しました。

現在、患者の行動歴など、積極的疫学調査を実施しており、その結果把握した濃厚接触者等に対しては、健康観察及びPCR検査を適切に実施することとしています。

1 経緯等

- 12月7日（月）以降、接待を伴う飲食店の従業員4名及び利用者2名が体調不良などにより医療機関等を受診し、検体を採取した上で、PCR検査を実施したところ、いずれも新型コロナウイルスに感染していることが確認されました。

12月10日 検体採取⇒2名：12月11日 感染判明

12月11日 検体採取⇒4名：12月12日 感染判明

- 患者については、感染症指定医療機関等へ入院する方向で調整しています。
- 本人からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴はありませんが、県外往来に関しては現在調査中です。

2 患者概要

(1) 年代

区分	40代	50代	60代	計
従業員	2	2	—	4
来店者	—	1	1	2
計	2	3	1	6

(2) 居住地

広島市

(3) 症状

軽症